

令和2年度 総合政策部 経営計画書

職・氏名	経営方針	経営資源			
総合政策部長 松尾 秀明 	<p>●使命 総合政策部は、企画・政策を総合調整する部として、市民の幸福度を高めるため、高度化・多様化する行政ニーズを集約し、共有しながら、課題を市政に反映します。</p> <p>また、市民意識を把握し、市民と行政との双方向による情報と意識の共有化を進め、市民満足度の向上に努めます。</p> <p>●基本方針 ①透明で開かれた市役所をめざして、市政の情報と市民目線の広聴広報に取り組みます。 ②定住促進策など「地方創生」関連施策を推進します。 ③市民活動のための支援策を調査研究し、協働のまちづくりを推進します。</p>	所管課	秘書広報課、企画振興課		
		人 員	正職員	臨時職員	合計
			17人	2人	19人
		一般会計	570,231 千円		
		特別会計	25,025 千円		
		計	595,256 千円		
(うち人件費)	(110,629 千円)				

重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
1	ふるさと納税（応援寄付金）制度の推進 <ul style="list-style-type: none"> 税外収入を確保するため、新たな返礼品を開発・拡充するとともに、クラウドファンディングを活用したふるさと納税を推進します。 市のさまざまなプロジェクトを紹介し、特設サイトからふるさと納税を集める仕組みを構築します。 	<ul style="list-style-type: none"> 歳入確保と市のイメージアップのため、お礼の品の開発・拡充をします。また、寄附者とのつながりを大切にします。 《目標額》 2億円以上 新規プロジェクトを軌道に乗せます。 《目標》 3プロジェクト以上を目指します。 	<ul style="list-style-type: none"> 9月末現在寄附金総額（未確定数値）は158,835,500円でした。お礼の品の開発・拡充に取り組んでいます。 8月27日にふるさと納税特設サイトを開設し、4プロジェクト（山鳥毛里づくり、ハンセン、夢二、こどもひろば）を紹介しました。 	<ul style="list-style-type: none"> 1月末現在寄附金総額（未確定数値）は476,852,000円でした。引き続きお礼の品の開発・拡充に取り組んでいます。 特設サイトでのプロジェクトのPRを継続しています。 企業版ふるさと納税のサイトを構築中です。 	<ul style="list-style-type: none"> 3月末現在寄附金総額（未確定数値）は524,403,500円でした。新規お礼の品として29事業者180品目を登録しました。 特設サイトでのプロジェクトPRを継続します。 3月30日から企業版ふるさと納税のサイトを公開しました。

	重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
2	<p>広報等による市内外への情報発信とシティプロモーションの推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページをよりわかりやすく、親しみやすいものに改善します。 ・市外への情報発信として広報季刊誌を発行し、市の魅力や取組等を広く発信します。 ・マスコットキャラクター（セットちゃん）を広く発信することにより「瀬戸内市」の知名度の向上を図ります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・使いやすい市ホームページに見直しすることでアクセス数の増加を図ります。 ・季刊誌を年4回発行することにより、東京圏でのファンを獲得し、関係を継続します。 ・幼稚園・保育園や各種イベントへ参加します。（年30回以上） ・デザイン使用マニュアルにより、セットちゃんのデザインを広く使用してもらいます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市ホームページのリニューアルに向けて作業を進めています。 ・11月上旬の季刊誌発行予定に向け、取材等準備中です。（年1回発行に変更。） ・新型コロナウイルスの影響によりイベントへの参加を自粛しています。 ・デザイン使用について、使用ガイドラインを作成し、ホームページに掲載しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市ホームページのリニューアル作業と職員操作研修会を開催しました。 ・季刊誌を12月上旬に発行するとともにファンクラブHPを開設し、SNS等で情報を発信しています。 ・参加自粛を継続しています。 ・ホームページにて周知を継続しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・リニューアル後のページを3/23から公開しました。 ・SNS等での情報発信により、ファンクラブ会員を募集しました。3月末の会員数708人です。 ・参加自粛により、市内でのイベントへの参加実績はありませんでした。 ・ホームページでの周知により、使用申請が5件ありました。
3	<p>国内・国際交流事業の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・国際交流員の配置による国際交流と国際理解の推進に努めます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・多文化共生のまちづくりを進めます。 ・国際交流員の配置と併せて日常生活に必要な情報をまとめた外国人向けパンフレット等の多言語化を3月までに進めます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの影響により国際交流員の配置が遅れ、多文化共生事業の実施についても9月末時点では未定です。 ・国際交流員の配置ができず、外国人向けパンフレットの作成時期を見合わせています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナによる新規入国の禁止で、交流員の配置が次年度になると決定されたため、多文化共生事業も次年度に実施することとします。 ・外国人向けパンフレットの作成時期は次年度以降に見合わせます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・国際交流員の配置は令和3年5月以降に遅れる見込みです。 ・外国人向けパンフレットの作成時期は、国際交流員の配置後とします。

重点項目	内容	成果目標	9 月末の進捗状況	1 月末の進捗状況	3 月末の達成状況
4	<p>新総合計画の策定 地方創生の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和3年度から令和7年度までを計画期間とする第3次総合計画を年度内に策定します。 人口減少対策に特化した地方創生の取組を推進します。 	<ul style="list-style-type: none"> 年度内にSDGsの考え方を盛り込んだ新総合計画を策定します。 創生有識者会議を7月中に開催し、KPI達成状況を示すとともに、結果を市ホームページで公開します。 移住交流促進協議会との連携により移住者の増加を図ります。目標：相談会からの移住5組 地方創生拠点施設として整備した旧牛窓診療所の利活用事業を中心に、牛窓エリアでの賑わい創出を促進します。目標：拠点施設で開催されるイベント数2回以上 	<ul style="list-style-type: none"> 5月に市民まちづくり意識調査を実施し、次期計画骨子を検討しています。 7月27日に有識者会議を開催し意見の要旨等をHP公表しました。 県や関係機関が主催するオンライン相談会やセミナーに2回(5月、7月)出展しました。9月末までに5組(全て昨年度相談会参加者)の移住者を受入れました。 令和3年4月の供用開始に向けて資金調達や改修設計を実施しています。 イベントは映画上映、コンサート、アートイベントを7月から月1回実施しました。 	<p>11月、1月に審議会を開催し、計画案を策定しています。次期計画は、コロナの影響等により3年度の策定方針とします。</p> <p>9月末で完了しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> 県や関係機関が主催するオンライン相談会やセミナーに5回(5月、7月、10月、12月、1月)出展しました。1月末までに7組(うち今年度相談会参加者2組)の移住が決定しました。 令和3年4月の供用開始に向けて資金調達、施工業者の選定が完了し、2月下旬からリノベーション工事に着手します。イベントは、1月末までに映画上映、コンサート、アートイベント、マルシェなど計10回開催し、参加者は7,900人でした。 	<p>3/29、審議会会長から答申が提出されました。今後、市長選挙に伴う内容修正後パブリックコメント、議会提出の予定です。</p> <p>同左</p> <ul style="list-style-type: none"> 県や関係機関が主催するオンライン相談会やセミナーに7回(5月、7月、10月、12月、1月、3月)出展しました。3月末までに10組(うち今年度相談会参加者4組)の移住が決定しました。 令和3年2月末に備前日生信金まちづくりファンドから資金調達し、3月上旬からリノベーション工事を実施しています。資金調達時期が当初の予定より遅れたため、供用開始は令和3年6月となります。

	重点項目	内容	成果目標	9 月末の進捗状況	1 月末の進捗状況	3 月末の達成状況
5	地域公共交通網の計画的な形成	<ul style="list-style-type: none"> 令和 3 年度から令和 7 年度までを計画期間とする第 2 次地域公共交通網形成計画を計画的に策定します。 市営バス路線相互の乗り継ぎ環境を整備します。 	<ul style="list-style-type: none"> 各種調査を実施した上で、市の状況に対応した計画を年度内に策定します。 年度内に市中心部に乗り継ぎのための結節点を設定することに合わせて利用しやすいダイヤに改正します。 	<ul style="list-style-type: none"> 策定支援に係る業務委託契約を完了し、基礎資料とする市民アンケートの発送準備をしています。 関係条例の改正等が可決され、11 月 2 日からの新ダイヤ運行に向け準備をしています。 	<ul style="list-style-type: none"> 各種調査を実施し、公共交通会議等の意見を伺いながら、3 月末完成を目標に作業を進めています。 市中心部の商業施設を乗り継ぎ拠点とし、11 月 2 日から新ダイヤで運行を開始しました。 	<p>パブリックコメント、公共交通会議での審議を経て 3 月末に計画策定を終えました。</p> <p>これまでの取組に加え、乗り継ぎ拠点となる市民病院にも詳しい路線図、時刻表を設置しました。</p>
6	持続可能な地域づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> コミュニティ施設の整備を計画的に進めます。 新しい自治組織制度の検討を進めます。 	<ul style="list-style-type: none"> 玉津コミュニティセンター新築工事、本庄コミュニティセンター改修工事を当初の計画どおり進めます。 年度内に新自治組織向けの補助制度の方向性を決定します。 	<ul style="list-style-type: none"> 新玉津コミュニティセンターが完成し、8 月末日に引き渡しを受けました。 旧施設の解体工事及び本庄コミュニティセンターの改修工事は委託により設計業務を進めています。 モデル地区として鹿忍地区の組織化及び邑久コミュニティ協議会の取組をベースに支援内容を検討しています。 	<ul style="list-style-type: none"> 旧玉津コミュニティセンター解体工事及び本庄コミュニティセンターの改修工事の設計業務が 12 月上旬に完成しました。 1 月下旬に旧玉津コミュニティセンター解体工事及び同監理業務の入札を実施しました。 鹿忍地区において地区住民（中学生以上）に対し、協議会設立に向けたアンケートを実施し、地域の強み、課題などを抽出しました。 邑久コミュニティでは、定期的に関催される会議に参加し、地域の意見の集約を行っています。 	<ul style="list-style-type: none"> 2 月上旬解体工事及び解体工事監理に係る契約を締結し、玉津地区の行政委員への説明会后、解体工事に着手しました。 鹿忍地区ではアンケート結果の各戸配布、新たな組織の規約案、役員案の策定を終え、新年度発足となりました。 それぞれの地区での取組を通じた市の支援策検討は次年度とします。

	重点項目	内容	成果目標	9 月末の進捗状況	1 月末の進捗状況	3 月末の達成状況
7	国勢調査をはじめとする基幹統計調査の確実かつ効率的な実施	<ul style="list-style-type: none"> 統計調査に係る事務の効率化(外注の検討等)により、調査に伴う市民及び職員の負担軽減を図ります。 庁内各部署で実施する統計、アンケート等の結果を市民が利用することができるよう、結果の集約、オープンデータ化を行います。 	<ul style="list-style-type: none"> 国勢調査に係る事務の業務委託を1件以上導入します。 年度内に統計、アンケート等の調査手順、集計方法等の統一化を図ります。 	<ul style="list-style-type: none"> 国勢調査に係る事務について、人材派遣会社から1名の派遣により市職員の負担軽減を図ります。 実施できませんでした。 	<ul style="list-style-type: none"> 国勢調査に係る事務は、8月17日から12月11日まで、人材派遣会社職員1名の派遣により職員の負担軽減につながりました。 実施できませんでした。 	<p>1 月末までに完了しました。</p> <p>結果としては未実施となりましたが、データ活用による市民サービス手法を別途研究しています。</p>